

協働の まちづくり

ニュース

Vol. 12
2010.12月号



▲ 平岩まちづくり協議会設立総会



▲ 塩見まちづくり協議会設立総会

平岩・塩見地区にも、まちづくり協議会が誕生!!

市が本年度より取り組んでいる「新しい地域コミュニティ組織制度モデル事業」。4月30日（金）に細島地区が、9月12日（日）に平岩地区、また同26日（日）に塩見地区で「まちづくり協議会」が発足しました。「自分たちの地域は自分たちで築いていく。」という強い意志のもと、10年後・20年後を見据えた各地区の特色ある地域づくりの挑戦が始まりました。



- P 2～4 特集／新しい地域コミュニティ組織制度モデル事業
○モデル3地区の動き
- P 5 協働へのアプローチ／市民まちづくり支援事業
○平成22年度下半期審査結果公表
- P 6～7 市民協働課掲示板／『ひまわり日記』
- P 8 元気印！／『ひむかいコーラス・ふれあいコーラス』

モデル3地区全てに協議会が誕生！

本年度より実施している『新しい地域コミュニティ組織制度モデル事業』。4月30日に細島地区が協議会を設立しましたが、口蹄疫発生という想定外の事態が生じたため、それぞれの地区の活動も自粛を余儀なくされました。8月27日に、ようやく終息宣言が出されたのを受けて、9月12日に平岩地区で、同26日に塩見地区で協議会設立総会が開催されました。これで、モデル3地区全てで協議会が設立され、独自の取り組みが始まりました。

平岩地区の動き

9月12日に「平岩まちづくり協議会」が平岩小中学校体育館で開催されました。これからのまちづくりの主役となる平岩地区住民430人が集まり、議案のすべてが満場一致で承認されました。



▲平岩地区が「まちづくり」という長い旅に出発。大きな一歩を踏み出しました！

各専門委員会の重点施策の概要及び事業計画は次のとおりです。

◆地域教育委員会

地域教育委員会では、家庭・地域・学校が一体となって取り組む「学社融合の教育」を推進するため、5つの重点施策を掲げました。

- ①放課後子ども教室運営団体の整備
- ②安全な通学路の整備
- ③家庭教育を支援する体制の整備
- ④小倉ヶ浜を活用した行事の開催
- ⑤あいさつ運動キャンペーン

なお、⑤のあいさつ運動キャンペーンでは、あいさつにちよつとした言葉や笑顔などを添える「あいさつ+1」運動も実施しています。

◆文化・スポーツ委員会

文化・スポーツ委員会では、2つの重点施策を掲げました。

安心・安全で 住みよいまち
住んで良かったと思える 平岩づくり

塩見地区の動き

◆設立総会前

【塩見まちづくり講演会】
「地域づくり」とは具体的にどういうものなのかをイメージし、気運を高めてもらうために、まちづくり協議会設立1週間前の9月18日、講師に五ヶ瀬町「夕日の里づくり推進協議会」から後藤福光会長を招き、講演会を行いました。

当日は、150人が参加し、後藤会長の話に相槌を打つ姿も見られました。アンケートでは、「地域の良さを見つけて活性化していきたい」「塩見について視点を変えて見詰め直してみたい」「地域全体での交流の機会を増やしたい」など、地区活性化に対して積極的な意見が多く見られました。

その後、9月26日にまちづくり協議会設立総会が開催されました。各部会の計画は次のとおりです。



▲講師の話に熱心に聞き入る参加者（塩見小体育館）

◆観光部会

【城山整備】

塩見のシンボルともいえる日向三城の一つ塩見城跡を花いっぱいにし、住民の憩いの場としての「城山」復活に取り組んでいきます。その第一段として、10月3日に塩見小PTAのOB有志で活動している「たにし会」と合同で、草刈り及び花壇整備が行われました。当日は、37人が作業に従事し、短時間で見違えるようにきれいになりました。

城山整備については、今後も定期的に作業を実施するとともに、高速道路からの景観改善、駐車場・ベンチ等の整備、バラの花の植栽等に取り組むこととしています。

さらに長期的には、河川プール、農産物PR等、塩見の情報発信に努めます。

◆自然部会

【塩見の自然活用】

塩見の豊かな自然を活かし、自然の素晴らしさと大切さが実感できるような事業に取り組んでいきます。

本年度は、10月16日に富島河川漁業協同組合の協力のもと、塩見川支流にて、河川の水質検査やウナギの放流を行いました。当日は、約100人の親子が参加し、貴重な体験に歓声を上げていました。

長期的には、小原河川プールを活用したイベント、塩見自然マップの

- ①スポーツ活動を通じた明るい地域づくり
- ②地域の祭りの盛り上げ

この2つを基本に、地域住民総ぐるみの様々な交流イベントを実施していきます。①のイベントとして、去る11月7日に「平岩地区レクリエーション大会」が実施され、おおいに盛り上がりました。また、②のイベントとして、12月4・5日に「まつり平岩」が実施される予定です。



▲11月7日に実施された「平岩地区レクリエーション大会」

◆産業活性化委員会

産業活性化委員会では、平岩地区の豊かな農林水産資源や人情味あふれた地域性を活かし、「平岩ふれあい朝市」の開催を重点施策としていきます。

朝市の開催により、地産地消の推進や地元への愛着心の醸成、地域住民のコミュニケーションの活性化

作成及び遊休農地の活用方法を模索していくこととしています。



▲ウナギの稚魚を放流する参加小学生

◆産業部会

【塩見農産物の活用】

塩見地区は農業が盛んな地域という事もあって、塩見で採れた農産物を活用した事業に取り組んでいきます。

本年度は、高速道路開通式での物産販売を計画。塩見産焼き芋の販売など地産農産物の「良さ」を売り込みます。

長期的には、塩見農産物を使用した加工商品の開発、直売所の開設及び販売ルートの拡大を計画していきます。

などを図っていきます。なお、朝市は来年2月13日に開催予定です。

◆健康・福祉委員会

健康・福祉委員会は、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指して、次に掲げた推進目標を実施していきます。

- ①ふれあいと生きがいの場づくり
- ②高齢者の安心生活づくり
- ③健康づくり

①では、誰でも気軽に立ち寄れる場所の検討を、②では、高齢者世帯のマップ作成を、③では、健康づくり学習会やイベント等の開催などといった取り組みを行っていきます。

◆生活環境・地域安全委員会

平岩の素晴らしい自然を守り、誰もが安心して住み続けられるまちとなるために活動する生活環境・地域安全委員会では、次に掲げた推進目標を実施していきます。

- ①ごみのないまちづくり
- ②自然とふれあうまちづくり
- ③安心安全なまちづくり

①では、ごみ出しの現状調査や資源物分別回収の推進、ポイ捨て禁止看板の作成、②では、自然環境の現状調査や河川清掃（10月31日に実施されたクリーンアップ日向に合わせて実施）、③では、生活道路・防犯等の現状調査や防災ハザードマップの作成などに取り組んでいきます。

◆イベント部会

【イベントの充実】

塩見夏祭りをはじめとした塩見のイベントの充実や、今も行われなくなった事業の復活に取り組みます。本年度は、12月の栗尾神社例大祭において、地あずきを使ったぜんざいのおもてなしなどを計画しています。

長期的には、橋ひよつとこ踊りや白太鼓踊りの盛り上げ、塩見大運動会の開催、城山整備後の活用方法を検討していくこととしています。

◆総務部会

【協議会の運営】

協議会事業の充実、組織発展のための方法・手段を模索していきます。また、4部会に属さない案件に対処していきます。

本年度は、協議会総会前に実施した講演会をはじめ、のぼり旗（左）の作成など協議会のPRに努め、さらに小学校通学路の危険箇所調査等を目的とした「塩見ウォーク」を実施することとしています。

長期的には、協議会活動拠点の設置調査、農業振興地域についての勉強会、放課後子ども教室の設置運営に取り組んでいくこととしています。

えがおがあふれ、ひよつとこもビックリ、やっど!! 403

塩見まちづくり協議会

平成22年度下半期 市民まちづくり支援事業 審査結果

No.	団体名	事業名	区分	総事業費(円)	採否	採択額(円)	事業内容
1	あくがれて牧水実行委員会	秋を満喫・牧水の里！来たれ、なりきり旅人！	拡大	409,200	採 択	152,000	自然と酒を受した国民的歌手「若山牧水」の生誕地を往時の牧水の姿になりきって散策し、自然や食、短歌づくりなどの体験と、そこに暮らす地域の人々との交流を図る。
2	山田会	映画「幸福の黄色いハンカチ」& 映画「京都太夫物語」上映会	既存	2,300,000	採 択	598,000	山田洋次監督の最新作を2作品上映し、併せて、山田監督及び主演俳優である倍賞千恵子さんの舞台あいさつを行なう。また、口蹄疫の直接的被害に遭われた南部地区の小中学生を招待することとしている。
3	どうぶつを守る「日向の会」	人と動物がともに暮らせるまちづくりをめざす事業	既存	321,000	不採択	0	市内各地域や観光地に生息する飼い主不明の犬や猫に対して、避妊・去勢手術や里親探し、個体管理作業を行なう。
計	3団体	3事業		3,030,200		750,000	

平成22年度 日向市まちづくり支援事業実績【22年度予算額：8,320,000円】

- 提案事業数：16事業
 - 採択事業数13事業（注1）
 - 中止事業：10事業
 - 総事業費合計：29,729,182円
 - 補助金確定額合計：6,328,000円
- ※（注1）採択事業数13事業のうち1件は、県市町村振興協会の補助事業を活用したため、まちづくり支援事業を自主辞退。



▲山田洋次監督と倍賞千恵子さんの舞台あいさつの様子



▲あくがれて牧水実行委員会による公開プレゼンテーションの様子

創設5年目を迎えた「日向市市民まちづくり支援事業」。上半期は口蹄疫の影響で、ほとんどの事業が中止となりましたが、下半期は募集に対し、3事業の応募がありました。いずれの事業も、イベント系及びその他の事業での応募でしたが、審査会での公開プレゼンテーションの結果、2事業が採択されました。

◆**事業実施報告**
下半期に採択された団体の一つである山田会の事業が、去る10月31日に日向市文化交流センターで実施されました。

映画館のないまち日向市で、山田洋次監督の最新作を上映する取り組みを続けている山田会ですが、今年には山田監督と女優の倍賞千恵子さんの舞台あいさつの後、2本の最新作の上映を実施しました。

◆**今後実施される事業**
あくがれて牧水実行委員会が主催の「牧水の里・来たれ！なりきり旅人」が来年1月に開催する予定となっています。

参加者が牧水の旅姿になり、まさに牧水になりきって、ふるさと坪谷を満喫する本イベント。

牧水が受した自然を体いっばいを感じる事ができるとともに、地元・坪谷の人たちとの温かいふれあいもあります。

今回は、何人の「なりきり牧水」が集結するのでしょうか？



▲御鉾ヶ浦での奉仕作業の様子

◆**全体での活動**
口蹄疫が発生している時に、「協議会でも何か力になれないだろうか。」との思いから、7月に協議会メンバーが車両の消毒業務に参加しました。

また、同じく7月に地元の海水浴場である御鉾ヶ浦の海岸清掃を実施しました。当日は、約200名という多くの住民が清掃作業にあたり、海水浴客が安心して楽しめる環境づくりに取り組みました。

細島地区の動き

4月から9月までの上半期については、口蹄疫の影響もありましたが、積極的に活動を行いました。また、10月からの取り組みについては、下半期の活動と併せて、来年度の事業についての協議や中期・長期にわたる計画の協議を進めています。



▲完成した「住民支え合いマップ」

◆**生活環境部会**
生活環境部会では、細島各所にあるごみステーションに分別等のマナーアップのためのプレートを設置しました。このプレート設置により、住民のごみ分別等に対する意識の向上が少しずつ図られてきています。

◆**福祉・健康部会**
福祉・健康部会で進めていた「住民支え合いマップ」が完成しました。このマップは、細島地区の高齢者の独り暮らし世帯・夫婦世帯の情報を網羅したものです。

マップ作成においては、福祉・健康部会のメンバーが延べ50人ほど参加し、各地区を巡回して対象者に聞き取りを実施しました。

完成したマップは、地元民生委員、細島地区区長公民館長会、地元消防団にそれぞれ配付され、今後の高齢者についての福祉事業等や安心なまちづくりに大いに活用していきます。



▲ごみステーションに設置されたマナーアップのためのプレート

また、協議会で調査した日向岬一帯の不法投棄ポイントの一つである馬ヶ背茶屋下の道路脇の清掃を11月21日に実施しました。実施後は、協議会で作製した不法投棄防止の看板を設置しました。

◆**青少年育成部会**
青少年育成部会では、毎月第3木曜日を細島地区の子どもの「見守りの日」として、通学路での登下校時の子どもたちの見守りを実施していますが、部会員のみならず、地域の方が見守りを一緒にするという動きも出ています。

また、部会として、地区の行事や細島小学校・富島中学校の活動にも積極的に参加しています。

◆**地域活性化部会**
地域活性化部会では、8月21日に「第1回細島納涼盆踊り大会」を高鍋屋北側で開催しました。当日は、多くの住民が集い、たいへん賑わいました。



▲子どもたちに伝統を教えつつ、住民との交流も図った「秋祭り」

◆**公民館活動部会**
公民館活動部会では、子どもたちに細島の伝統や文化を伝える一環として、11月14日に行われた地区の秋祭りに参加しました。当日は、祭りの歴史などを子どもたちに説明し、お神輿と一緒に曳いたりして交流を深めました。

また、子どもたちが放課後に集まり様々な学習・体験をする拠点づくり「魚っ子クラブ（いよっこクラブ）」の創設について、住民にアンケートを取ったところ、約6割の方々が「クラブができた場合は協力したい。」との結果が出ました。

今後は、他のモデル地区とも連携を図っていきながら、クラブ創設へ取り組みを進めます。





◆日向市市民活動支援センターをご利用ください！

今年1月に日向市文化交流センター小ホール棟2階にオープンした「日向市市民活動支援センター」。この施設は、市民の皆さんが公益的な市民活動を行うための拠点としてオープンしました。

センターには、活動の打ち合わせや交流の場として使用できる交流サロン、資料作成・情報検索に使用できるパソコンコーナー、資料印刷や製本などを行う作業室などが完備されています。

オープン以来、多くの皆さんにご利用いただいておりますが、市民活動をされている皆さん、これから活動を始めようとしておられる皆さん、本センターをぜひご利用ください。

なお、施設利用についてのお問い合わせは、日向市市民活動支援センターまでお問い合わせ下さい。(☎ 54・3001)



▲講演会講師 志茂田 景樹 氏

◆ひまわりフォーラムを開催します。

日向ひまわりフォーラム実行委員会では、男女共同参画社会づくりの啓発と市内の市民活動団体等の活動PR・活性化促進を目的に、ひまわりフォーラムを開催します。

開催日 平成23年2月20日(日)
場所 日向市文化交流センター
及び日向市中央公民館

■内容

- 市民活動団体等による活動事例発表・PRブース
- 直木賞作家・志茂田景樹氏による講演会等

本年度のフォーラムは、日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム「さんびあ」と日向市市民活動支援センターが協力して開催します。市民の皆さんにとって、有意義かつ楽しんでいただけるフォーラムとなるよう準備を進めておりますので、皆さんの多数のご参加をお待ちしております。フォーラムに関するお問い合わせは、さんびあまでお問い合わせ下さい。(☎ 50・0300)



▲市役所ロビーで開催された「国際交流パネル展」～My Canada～

◆国際交流コーナー

11月15日(月)から19日(金)まで、日向市役所本庁1階ロビースペースにて、「国際交流パネル展 My Canada」を開催しました。

このパネル展は、市民の皆さんが本市の第10代国際交流員・アールの出身国であるカナダの文化や歴史と接する機会を設けることで、国際理解と異文化交流が図られることを目的として開催しましたが、期間中は多くの市民の皆さんにご覧いただきました。

なお、このパネル展は今後、「移動展示」として、より多くの市民の皆さんにご覧いただきたいと考えています。パネル展示を希望される方につきましては、日向市国際交流まちづくり協議会事務局(市民協働課内)までお問い合わせ下さい。

編集後記

▼前任の(へし)の後を引き継ぎ、「協働のまちづくりニュース」を担当させていただくことになりました。

「読みやすく、わかりやすい」紙面作りを心掛けて頑張りますので、皆さんのご指導をよろしくお願いします。

先日、財光寺で活動している「財光寺農業小学校」が全国の地域づくり団体を紹介する雑誌の取材を受けました。市内には全国に自慢できる地域づくりの団体がたくさんありますが、本紙でもそれらの団体をどうし紹介していきたいと思っておりますので、市民の皆さん、取材の際はご協力をお願いします。(な)

新しい国際交流員を紹介します!!

8月から市民協働課に新しい仲間が加わりました。「広報ひゅうが」や「協働のまちづくりホームページ」などでご存じの方も多いと思いますが、カナダ出身のオール・アミン・ザッカ(23)です。

市では、国際交流員派遣事業などの様々な事業を通じて、「国際交流を通じた協働のまちづくり」にも取り組んでいますので、派遣を希望される場合は、気軽にお問い合わせ下さい!



部門	No.	団体名	事業名	総事業費(円)	補助金申請額(円)	助成金交付決定額(円)
市民活動助成事業	1	宮崎ダンボールコンポストネットワーク 東北支部・日向グループ	ダンボールコンポストによる家庭生ごみの削減活動	100,000	50,000	45,000
	2	日向台EMボカシ普及委員会	EMボカシ肥料の推進とEMボカシ野菜作り	225,000	100,000	80,000
	3	栴園塾	若山牧水を書こう	160,000	80,000	72,000
	4	そら祭り実行委員会	そら祭り 宮崎 2010	1,121,700	100,000	90,000
	5	まちなかハロウィン実行委員会	まちなかハロウィン2010	534,870	100,000	90,000
	6	日向商工会議所 女性会	100万人のキャンドルナイト ~ひゅうがの灯り2010~	220,000	100,000	90,000
	7	[CAPE HYUGA ULTRA SOUND]実行委員会	CAPPE HYUGA ULTRA SOUND	1,950,000	100,000	90,000
	8	上町商店街振興組合	曜日&八幡通り完成イベント	328,160	100,000	70,000
計		8団体	8事業	4,639,730	730,000	627,000



▲家族連れなどで、おおいに盛り上がった「そら祭り宮崎2010」

平成22年度ひまわり基金事業・市民活動助成事業は、11月15日現在、8団体8事業に助成金の交付決定を行いました。本年度申請のあった8事業のうち、3事業が継続事業、5事業が新規事業となっております。

実施された事業のうちから、いくつかご紹介いたします。

①そら祭り 宮崎 2010 IN 日向

11月7日に日向岬グリーンパークにて開催されました。

そら祭りとは、音楽・食・土地を「そら」の下で味わい感じてもらいたいイベントです。今失われつつある人と人とのつながりを、どこでもいつの時代でも等しく存在してきた「そら」を通してもう一度



▲廃油で作られた「エコ・キャンドル」の優しい光の中行われた「ひゅうがの灯り2010」

確認し大切にしていこうという意欲もあります。

当日は県内外から多くの方が来場し、最高のロケーションの下、地元の食と音楽に浸って楽しいひと時を過ごしていました。

②100万人のキャンドルナイト ひゅうがの灯り2010

11月13日に日向市駅前交流広場にて開催されました。(主催:日向商工会議所女性会)

このイベントは、キャンドルの灯りをみながら、地球環境について考えるという目的で行われていました。昨年は、廃油で作られたキャンドルを三千個用意しましたが、今年は三千五百個のキャンドルが煌びやかに灯りました。参加した市民の皆さんは、灯りの優しさに心を癒されているようでした。

ひまわり基金事業 助成事業を ご活用ください!

★市民活動助成事業

公益的な市民活動団体が取り組む、まちづくり(環境美化、防災、防災、住民間交流など)、人づくり、ものづくり、学習活動などの事業に対して助成する制度が「市民活動助成事業」です。

助成額は、事業を実施するために必要な助成対象経費の2分の1以内とし、審査の上1事業あたり10万円を限度として交付します。

★NPO法人設立支援事業

新たに特定非営利活動法人(NPO法人)を設立する場合、それらに要する経費の一部を助成する制度が「NPO法人設立支援事業」です。

助成額は、1事業あたり20万円以内とし、1団体につき1回限りとなります。

事業の詳細や申請の条件などの問い合わせは、お気軽に市民協働課へご相談ください。

また、「協働のまちづくり」ホームページにも情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。



コーラスでまちを元気に！ (ひむかいコーラス・ふれあいコーラス)

【連絡先】

♪ ひむかいコーラス
TEL: 53-5016
(日高 房子さん)

♪ ふれあいコーラス
TEL: 54-7831
(奈須 紀久子さん)



写真は、11月3日(水)に日向市文化交流センター大ホールロビーにて開催された口蹄疫被害復興チャリティーコンサート「文化の日ロビーコンサートがんばろう日向!!」の様です。当日は、「ひまわりキッズ・ひまわりのたね」の皆さんと一緒に出演しましたが、観客の皆さんも歌って会場が一体となり、大いに盛り上がりました。

「ひむかいコーラス」は昭和51年に「ふれあいコーラス」は平成5年にそれぞれ設立し、これまで様々な行事に積極的に参加しています。来年2月に文化交流センターで開催される「ひまわりフォーラム」にも参加予定です。

「コーラスを通して市民の皆さんと心の共有を楽しみながら、心身ともに豊かで元気なまちにしたい。」私たちはそういう思いを持ちながら活動をしています。コーラスに興味のある方は、私たちと一緒に歌いませんか？

お気軽にご相談ください！

平成23年度 日向市市民まちづくり支援事業

上半期事業の募集が始まります!!

市民の皆さん主体による「元気で活力あるまちづくり」を推進するため、平成23年度上半期日向市市民まちづくり支援事業の募集を開始します。

●応募できる団体

- (1) 市内に活動拠点を有する非営利活動団体（NPO法人・市民団体、ボランティアグループ、自治会等）であること
- (2) 5人以上の会員で組織していること
- (3) 組織の運営に関する規約等があること
- (4) 宗教活動や政治活動を行う団体ではないこと
- (5) 暴力団の構成員が、団体の役員となっていないこと

●募集事業の内容

- (1) 市又は市内特定地域（以下「市・地域」という。）の活性化又はコミュニティの醸成につながる事業
- (2) 市・地域の特色を生かした事業
- (3) 市・地域のイメージアップや情報発信につながる事業

●対象事業

- ①平成23年上半期（4～9月）に実施する事業
- ②年間を通じて実施する事業
- ③上半期と下半期にまたがる事業
- ④下半期に実施する事業で、9月以前から準備等を行う必要がある事業

●募集期間

平成23年2月1日（火）～2月18日（金）

●提出及び問い合わせ先

事業や募集に関して不明な点がございましたら、お気軽に市民協働課（☎52-2111 内線2853）までお問い合わせください。

発行/平成22年12月1日

日向市 企画政策部 市民協働課 〒883-8555 日向市本町10番5号
TEL 52-2111(内線2853) FAX 56-0018

協働のまちづくりニュース 12月号